

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 10月 1日

事業所名:多機能型障がい児通所支援事業所みなみ 保護者等数(児童数):17名 回収数:13名 割合:76 %

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|------------------|---|----|---------------|-----|-------|-------------------------|---------------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 8 | 3 | | 2 | ・少し狭そうに感じるが 不満はない。 | ・整理整頓を心掛け 広いスペースが確保 できるよう努めている。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 11 | | | 2 | | |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 10 | | | 3 | | |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 11 | | | 2 | | |
| | 5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 12 | 1 | | | | |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 2 | 3 | 2 | 6 | | |
| 保護者 への 説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 11 | 1 | | 1 | | |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 11 | 2 | | | | |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 7 | 4 | 1 | 1 | ・まだ入所して3カ月なのでどちらとも言えない。 | ・保護者への関わりを多く持ち、コミュニケーションを図っていく。 |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 2 | 3 | 6 | 2 | | |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 10 | 2 | | 1 | | |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 11 | 2 | | | | |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 10 | 2 | | 1 | | |
| | 14 個人情報に十分注意しているか | 13 | | | | | |
| 非常時 等の 対応 | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 6 | 3 | 1 | 3 | | |
| | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 11 | 2 | | | | |
| 満足 度 | 17 子どもは通所を楽しみにしているか | 13 | | | | | |
| | 18 事業所の支援に満足しているか | 13 | | | | | |
| その他 | ・いつもお世話になっています。・子どもを安心して預けられるので助かります。・いつも有り難うございます。 | | | | | | |

【事業所職員向】放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 10月 1日

事業所名:多機能型障がい児通所支援事業所みなみ

職員数:9名

回収数:9名

割合:100 %

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|--|----|-----|--------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 8 | 1 | ・身体の大きい児童が揃うと部屋が狭く感じる。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 9 | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 9 | | |
| 業務改善 | 4 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 9 | | |
| | 5 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 9 | | |
| | 6 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 9 | | |
| 適切な支援の提供 | 7 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 9 | | |
| | 8 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 9 | | ・職員間と話し合いながら決めている。 |
| | 9 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 9 | | |
| | 10 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している | 9 | | |
| | 11 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 8 | 1 | ・できていない時もある。 |
| | 12 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 9 | | |
| | 13 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 9 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 14 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 9 | | |
| | 15 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 6 | | ・該当なしの為 無記名3名 |
| | 16 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 7 | | ・該当なしの為 無記名2名 |
| | 17 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 9 | | |
| | 18 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 9 | | |
| | 19 | 個人情報に十分注意している | 9 | | |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 9 | | |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 9 | | |
| | 22 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 9 | | |
| | 23 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 8 | 1 | |
| | 24 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 8 | 1 | ・該当する利用者がいない。 |
| | 25 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 9 | | |